

環 境 経 営 レ ポ ー ト

2022年度

(運用期間: 令和4年4月～令和5年3月まで)

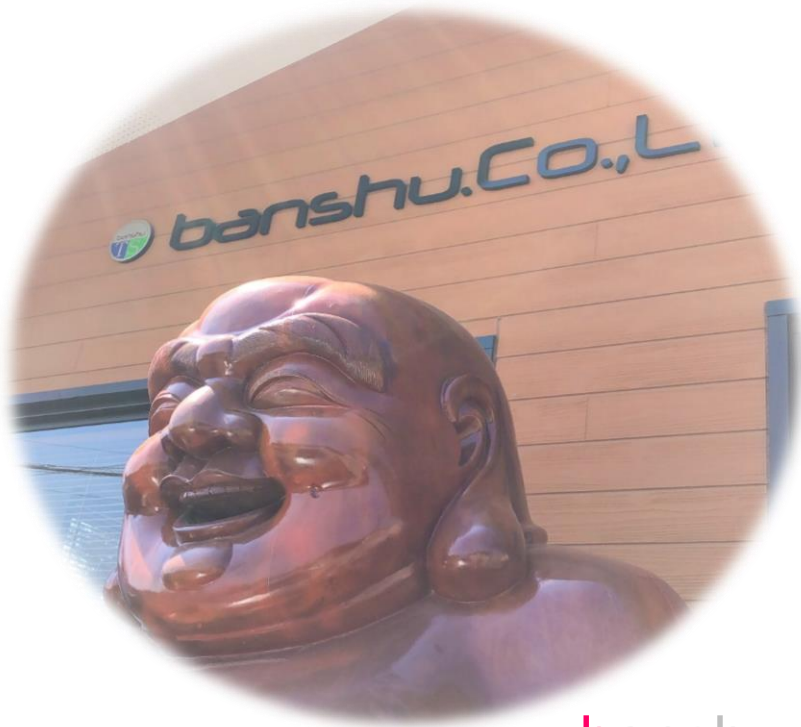


発行日 令和5年5月15日

株式会社 播 州
banshu co.,Ltd.

目次

1. 会社概要・・・・・・・・・・ P2
2. 実施体制・範囲・・・・・・・・ P3
3. 環境経営方針・・・・・・・・ P4
4. 活動規模・・・・・・・・・・ P5
5. 環境経営目標と実績・・・・・・・・ P6
6. 活動計画と評価・・・・・・・・ P7
7. 問題の是正及び予防処置・・・・ P8
8. 環境関連法規制の遵守状況・・・・ P9
9. 環境上の緊急対策・・・・・・・・ P10
10. 代表者による総合評価と見直し・・ P11
11. 次年度の目標 ・・・・・・・・ P12



banshu co.,Ltd.

1.会社概要

- ・会社名 株式会社 播 州
- ・代表者 田中 貴士
- ・本社兼 事務所 〒412-0041 TEL 0550-78-6969
静岡県御殿場市ぐみ沢843-7 FAX 0550-78-6968
- ・環境管理責任者 総務 高田 悦子
- ・環境管理担当者 総務 勝間田 三枝子
- ・事業概要
 - 1.建物解体工事業
 - 2.土木工事業
 - 3.産業廃棄物収集運搬業・リサイクル業
- ・登録免許

種別	県名	許可番号	登録の有効期限
一般建設業	静岡県	(般一04) 第037072号	令和4年5月15日～令和9年5月14日迄
産業廃棄物 収集運搬業	静岡県	第2201155505号	令和2年7月29日～令和7年7月28日迄
	神奈川県	1404155505	令和2年10月6日～令和7年9月6日迄
	東京都	第13-00-155505号	令和5年5月31日～令和10年5月30日迄
	山梨県	01900155505号	令和2年8月4日～令和7年8月3日迄
産業廃棄物	種類	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くず、がれき類、（石綿含有産業廃棄物を含む） （水銀使用製品産業廃棄物を含む）	

・活動規模

活動規模	単位	31年	R2年	R3年	R4年
受託した収集実績	t	6855	46243	5651	3972
再生資源回収・収集量	t				1900
売上高	百万円	415	570	542	780
従業員	人	24	24	24	28
資本金	百万円	10	10	10	10

・会社履歴

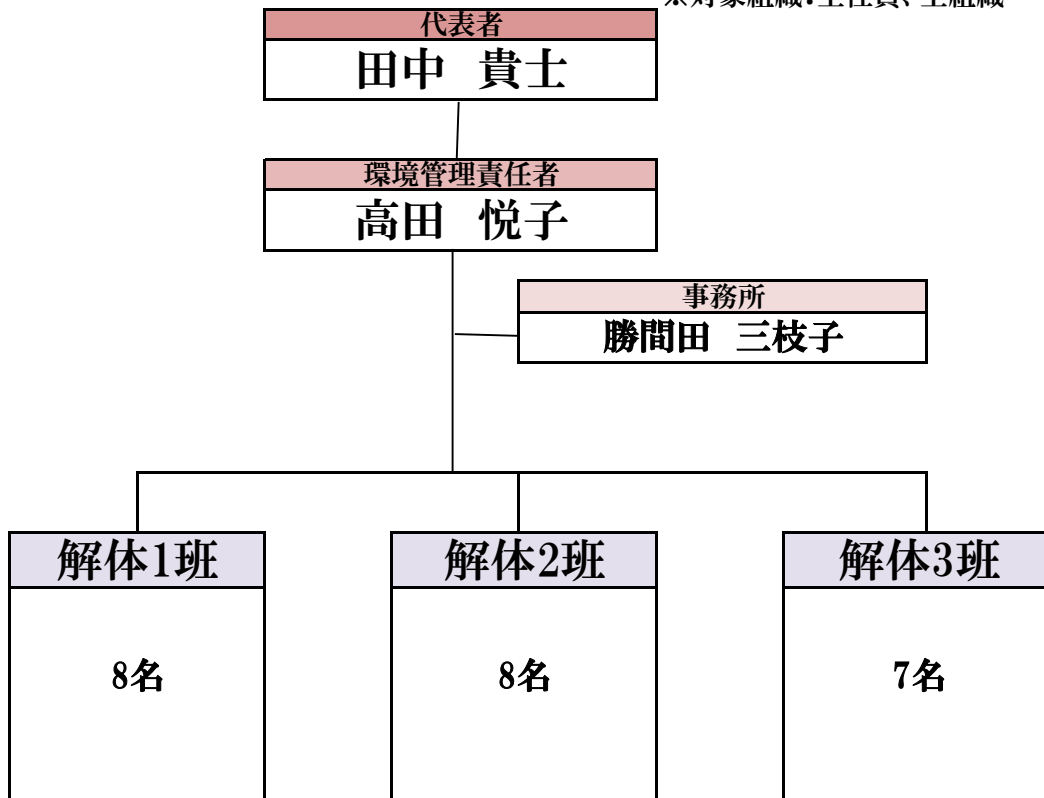
- 平成22年 4月：会社設立
- 平成22年 6月：静岡県解体工事業取得
- 平成22年 7月：神奈川県解体工事業・静岡県産業廃棄物収集運搬業取得
- 平成22年 9月：神奈川県産業廃棄物収集運搬業取得
- 平成24年 3月：宮城県解体工事業取得
- 平成24年 5月：静岡県一般建設業取得
- 平成30年 5月：東京都産業廃棄物収集運搬業取得
- 令和02年 8月：山梨県産業廃棄物収集運搬業取得

・保有車両

- 4 t アームロール：5台
- 3 t 平ダンプ：3台
- 3 t 深ダンプ：3台
- 0.7油圧ショベル：2台
- 0.45油圧ショベル：2台
- 0.2油圧ショベル：1台
- 10 t 回送車：1台
- 0.25油圧ショベル：3台
- 0.18油圧ショベル：2台
- 0.15油圧ショベル：3台
- 0.08油圧ショベル：1台
- フォークリフト：1台
- 営業車：10台

2. エコアクション21 実施体制

※対象組織：全社員、全組織



担当	役割・責任・権限
代表者(代表取締役)	・エコアクション21に関する代表責任者 ・環境管理責任者の任命を行う ・環境方針の制定、改訂及び全社員への周知 ・経営における課題とチャンスの明確化 ・代表者による全体の評価と見直しを実施する ・環境マネジメントシステムの承認
環境管理責任者(専務取締役)	・環境マネジメントシステム全体の構築、運用、維持に関する実務上の権限を有する ・環境マネジメントシステムの構築、実施及び運用管理 ・環境事務局の文書作成案に対するチェック及び改訂の指示 ・問題点のチェック及び予防処置の実施 ・緊急事態の試行及び訓練の実施
環境事務局(総務)	・エコアクション21に関する代表責任者における文書作成 ・環境目標及び環境活動計画案の作成 ・環境関連法規等の取りまとめ及び遵守状況のチェック ・事故及び緊急事態の想定結果及びその対応策の策定 ・環境負荷の自己チェック、取り組みの自己チェックの実施 ・環境活動レポートの作成
全社員	・環境方針の確認・理解 ・各個人における環境マネジメントシステムの実施

3.環境経営方針

【環境経営理念】

株式会社播州はおもに家屋の解体を主とした事業所で、地球に優しくエコを重視した会社でありつづけたいと願い、常に地域社会に配慮した解体工事及び収集運搬に努め循環社会形成に取り組む企業を目指します。

【基本方針】

当社は、環境理念に基づいた環境経営システムを構築し、環境負荷を軽減すると共に、環境に配慮した継続的な活動を展開いたします。

- 1 低騒音重機の使用率100%を維持します。
- 2 省資源・少エネルギー・リサイクル活動を推進し、二酸化炭素排出量、廃棄物排出量、水利用量の削減に努めます。
 - ・電気、軽油、ガソリンの省エネルギー活動の推進
 - ・廃棄物のリサイクル向上に努めます
 - ・節水活動による水使用量の削減に努めます
- 3 事務用品や用度品のグリーン購入に努めます。
- 4 解体着手前の元請との厳重な打ち合わせ、及び近隣あいさつを徹底しノークレームに努めます。
- 5 環境関連の法律を遵守します。
- 6 全社員に環境に関する教育を行い、環境保全の意識を高めます。



株式会社 播 州

代表取締役 田中 貴士

制定:平成24年4月1日
改定:平成30年4月15日

banshu co.,Ltd.

4. 事業の規模

活動規模

活動規模	単位	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
工事等の件数	件	197	140	115	93
売上高	百万円	415	570	542	780
従業員	人	24	24	24	29
事務所床面積	m ²	43	43	43	43
資機材置場面積	m ²	35	1235	1235	1235
工場・作業所等床面積	m ²	0	0	0	0
()	()				



banshu co.,Ltd.

5. 環境経営目標とその実績

2022年度 環境負荷の実績

項目	単位	2022年度
二酸化炭素	Kg-CO2	639,270
内訳	購入電力	KWh 26,886
	ガソリン	L 21,289
	軽油	L 220,287
	灯油	L 2,497
受託した産業廃棄物処理量	収集運搬量	t 3,973
	中間処理量	t —
	再資源化量	t —
	再資源化率	% —
一般廃棄物量	t	0.17
事業所排出産業廃棄物量	t	1,444
総排水量	m ³	121

中期環境目標

項目	単位	基準 (2021年度)	2022年度	2023年度	2024年度	2025年度
二酸化炭素	Kg-CO2	458694	-2%	-3%	-4%	-5%
内訳	購入電力	KWh 21488	-2%	-3%	-4%	-5%
	ガソリン	L 15952	-2%	-3%	-4%	-5%
	軽油	L 157527	-2%	-3%	-4%	-5%
	灯油	L 2257	-2%	-3%	-4%	-5%
産業廃棄物の削減	t	2760	数値把握	数値把握	数値把握	数値把握
一般廃棄物量	t	0.23	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量	m ³	137(節水努力)	数値目標は立てずに節水に努める			
顧客住民からのクレーム	件	0	0	0	0	0

運用期間目標とその実績

電力二酸化炭素換算係数: グリムスパワー(0.563)

項目	単位	基準 (2021年度)	2022年度目標	2022年度目標	2022年度実績	評価
二酸化炭素	Kg-CO2	458694	-2%	449520	639270	×
内訳	購入電力	KWh 21488	-2%	21058	26886	×
	ガソリン	L 15952	-2%	15633	21289	×
	軽油	L 157527	-2%	154376	220287	×
	灯油	L 2257	-2%	2212	2497	×
産業廃棄物の削減	t	2760	実績把握	実績把握	1444	○
一般廃棄物量	t	0.23	現状維持	0.23	0.17	○
水使用量	m ³	137(節水努力)	節水に努める	137(節水努力)	121	○
顧客住民からのクレーム	件	0	0	0	0	○

7、活動計画と評価、次年度取組

目的	区分	項目	担当	活動項目	評価	次年度取組
二酸化炭素の削減	購入電力	照明	高田	①消灯の徹底	○	継続
				②プルスイッチ化	○	継続
				③高効率照明機器の導入	○	継続
		空調	高田	①温度設定夏27℃ 冬20℃	○	継続
				②クールビズ、ウームビズ	○	継続
				③フィルター定期清掃	○	継続
				④使用していないエリアの空調停止	○	継続
				⑤遮光対策	○	継続
		コンプレッサ	望野	①無駄の配管の撤去	○	継続
				②二方弁の取り付け及びサージタンク検討	○	継続
				③コンプレッサ環境整備	○	継続
				④昼休み時間稼働停止	○	継続
				⑤エアー漏れの点検と修理	○	継続
		設備	高田	①停止時メイン電源OFF	○	継続
				②自動販売機の省エネ対策	○	継続
				③冷蔵庫の保冷対策	○	継続
	ガソリン・軽油	乗用車 トラック 油圧ショベル	望野	①エコドライブ	○	継続
				②エコ整備	○	継続
				③日常・定期点検の実施	○	継続
				④省エネ車の導入	○	継続
				⑤排ガス対応車の導入	○	継続
				⑥アイドリグストップ	○	継続
廃棄物のリサイクル	事務所		高田	①コピー用紙の両面使用	○	継続
				②封筒の再利用	○	継続
				③集約化購買	○	継続
				④3Rの実践	○	継続
				⑤廃棄物の分別とリサイクル	○	継続
				⑥エコキャップ運動の参加	○	継続
	産業廃棄物		高田	①古紙、カン、ビン、ペットボトル等の分別	○	継続
				②電子マニフェストの導入	○	継続
				③新規顧客の開拓	○	継続
節水	上水		高田	①節水表示	○	継続
				②ストップガンの取り付け	○	継続
				③節水こまの取り付け	○	継続
グリーン購入	事務用品		高田	①環境ラベル対応品の購入	○	継続
				②何回も使える物購入	○	継続
	用具・器具		高田	①環境ラベル登録品の購入	○	継続
				②小さい容器～大きな容器へ	○	継続
クレーム			高田	①従業員の教育訓練	○	継続
				②クレーム時の即時対応	○	継続

評価：○実施されている ×実施されていない

8、問題の是正及び予防処置

運用期間(R4年4月～R5年3月)

目標未達成項目	原因	是正及び予防処置
①二酸化炭素の目標未達成	大規模な現場が増加して大きな重機を使用したため。	2022年度を基準に2023年度目標見直し、その上で、可能な範囲で省エネを図りつつ、今後の推移をみることにする。
②購入電力の目標未達成	寒波のため、凍結防止の熱線など使用したため。	2022年度を基準に2023年度目標見直し、その上で、可能な範囲で省エネを図りつつ、今後の推移をみることにする。
③ガソリンの目標未達成	遠方の仕事量が、増加したため、社用車のガソリンを多く使用したため。	2022年度を基準に2023年度目標見直し、その上で、可能な範囲で省エネを図りつつ、今後の推移をみることにする。
④軽油の目標未達成	遠方の大規模な現場が増加したため、重機やトラックの軽油を多く使用したため。	2022年度を基準に2023年度目標見直し。 その上で、可能な範囲で省エネを図りつつ、今後の推移をみることにする。
⑤灯油の目標未達成	仕事量増加のためと、寒波のため、ストーブの使用量が増加したため。	2022年度を基準に2023年度目標見直し。 その上で、可能な範囲で省エネを図りつつ、今後の推移をみることにする。



9、環境関連法規制の遵守状況

1. 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありませんでした。

遵守評価日：2023年4月1日

法規・条例・規制	適用内容または規制基準値	備考	遵守状況
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	廃棄物排出事業所との委託契約	契約(書)の締結	○
	マニフェストの管理	B2表、C2表、D票、E票の返却	○
	マニフェストの期間内返却	90日以内または180日以内	○
	マニフェストの保管	5年間	○
	投棄禁止	不法投棄を行わない	○
	廃棄物の悪臭・飛散防止	車両荷台にシートを被せる等	○
	保管場所への掲示	60cm×60cm 以上掲示	○
	マニフェストの年間集計と知事への報告	6月30日までに提出	○
	水銀含有製品廃棄物の取り扱い	隔離、破損対策、保管表示	○
	許可と許可書の更新	5年間	○
御殿場市一般廃棄物処理に関する条例	一般廃棄物の分別排出	可燃物・不燃物 衣類布団は50cm以内にカット	○
騒音・振動規制法	特定作業	コンプレッサー、剥離機、重機	○
	基準値の遵守		○
静岡県生活環境保全条例	特定作業		○
	基準値の遵守		○
建設基準法	建物の解体に伴う基準遵守と書類提出	テレビ・冷蔵庫 他	○
建設業法	許可と許可書の更新	5年毎	○
建設リサイクル法	80㎡以上の家屋を解体する場合に届出	木くず・コンクリートガラ アスファルトガラ等	○
浄化槽法	日常点検の実施	3か月/1回	○
	法定検査の実施	1年/1回	○
フロン排出抑制法	点検及び破棄時指定業者への引き渡し	建設機械の簡易点検 事業用エアコンの簡易点検	○ 対象外
環境基本法	一般的な自主努力		○
地球温暖化対策推進法	温室効果ガス抑制措置	自治体施策へ協力	○
循環型社会形成推進基本法	3Rへの努力	廃棄物等の内、有用な物の循環的な利用を促進	○
グリーン購入法	環境物品の購入	事業者の一般的責務	○
自動車リサイクル法	引取業者への引渡し	リサイクル料金の支払い	○

2. 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴訟も過去1年間ありませんでした。

10.環境上の緊急対策

〈緊急時対策〉

想定される環境に於ける緊急事態について、環境への影響を最小限に食い止めること・内外への連絡を円滑に行うこと・可能な範囲で事前に想定、準備すること。また、定期的にその訓練を行う。
更に、緊急事態の発生や、訓練の後、対応の評価と改善策を行う。

	想定される緊急事態	原因	対応策
パターン 1	高速道路走行中の車の故障	タイヤのパンク	けが人がいないか確認 会社に報告 レッカー車を呼ぶ 救助車をだす 保険会社に報告 安全な場所へ移動
パターン 2	道路走行中の交通事故	前方不注意	けが人がいないか確認 救急車を呼ぶ 警察に連絡 会社に報告 相手方の確認する レッカー車を呼ぶ 救助車をだす 保険会社に報告 必要に応じて医師の診断書

訓練記録

訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R5年1月17日	走行中の車の故障	タイヤのパンク	走行前の車の点検・けが人がいないか確認後会社等に連絡、安全な所で退避
※評価と改善策 走行前に必ず点検を行う。 各社用車へチェックリストと対処法を配布。 初心に戻り安全運転チェックシートの診断をした。			
訓練日	想定される緊急時の状況	原因	対処・訓練等
R5年1月17日	交通事故	前方不注意	運転手は安全運転に心がける。
※評価と改善策 普段から疲れやストレスをためないよう、規則正しい生活を送るよう社長にお話してもらいました。 運転中の携帯の操作や私語を慎み安全運転に集中できるように心がける。 もしもの場合にドライブレコーダーをとりつける。 事故を起こしてしまったらのマニュアル作成、配布。 初心に戻り安全運転チェックシートの診断をした。 ※ 迅速な対応ができるよう心構えし、保険対応なども確認しました。			

代表者による総合評価と見直し・指示

全社員は環境関連法規を理解し、遵守したうえで環境経営理念に従い業務に当たってくれています。

基本、環境経営方針は変わりません。環境経営目標の項目で達成できてないものがありますが、仕事量の増加に伴うもので致し方ないとかんがえます。

引き続き環境経営計画を理解し業務に努めて頂きたいです。

実施体制に特に変更はありません。人手不足の中ではありますが環境経営方針を遵守し、環境経営目標達成に向けて更なる努力と協力をお願いします。

(代表者の指示)

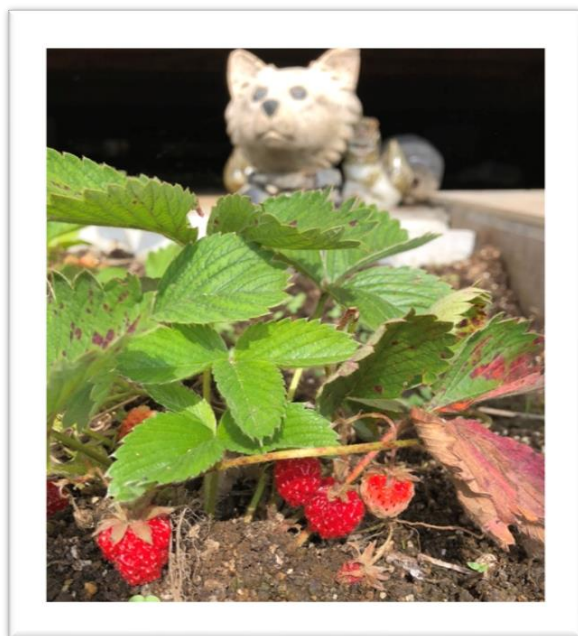
- ・環境経営方針、計画、実施体制は継続とする。
- ・環境経営目標については2022年度を基準に2023年度以降の目標を見直しとする。

2023年4月30日

株式会社 播州

代表取締役 田中 貴士

banshu co.,Ltd.



次年度以降の目標

中期環境目標

項目		単位	基準 (2022年度)	2023年度	2024年度	2025年度	2026年度
二酸化炭素		Kg-CO2	639270	-1%	-2%	-3%	-4%
内訳	購入電力	KWh	26886	-1%	-2%	-3%	-4%
	ガソリン	L	21289	-1%	-2%	-3%	-4%
	軽油	L	220287	-1%	-2%	-3%	-4%
	灯油	L	2497	-1%	-2%	-3%	-4%
産業廃棄物の削減		t	1444	数値把握	数値把握	数値把握	数値把握
一般廃棄物量		t	0.17	現状維持	現状維持	現状維持	現状維持
水使用量		m ³	121	数値目標は立てずに節水に努める			
顧客住民からのクレーム		件	0	0	0	0	0